

神津まちだより

Vol.
01

[発行] 神津小学校地区自治協議会広報部

「神津」

神津の歴史は常に稲作と深く結びついており、「川辺郡誌」(大正3年刊行)によれば、「明治に至り新村名に川東の称を似てせしも、しかる由緒ある地になれば、神津と称することに改めたりとぞ」と記載されています。また一説によれば村名は、「日本は神国にして、地は撰津なり」宣しく両者の一字づつを取りて「神津村」とした説もあります。瑞祥地名のため伊丹市に「神津」を冠する町丁や大字は現存していませんが、伊丹市東部の地域名としては現在も使用されており、伊丹市神津交流センターや伊丹市立神津小学校等に名を留めています。

神津小学校地区は、伊丹市東端に位置し、東は池田市・豊中市、南は尼崎市に面するおよそ160.35haの地域です。地区の中央を東西に県道伊丹豊中線が走り、地区東部には大阪国際空港が広がっています。地域には森本、口酒井、岩屋、桑津を中心に短冊型の農地があり、JR伊丹駅から近く都会でありながら田舎の良さを適えた親しみやすく住みやすい地域であります。

緑豊かな自然と広大な農地、由緒ある神社・仏閣など歴史的な建物や文化が残っている「神津」の良さを共有しましょう。

神津地区の皆様の今後ますますご清栄とご多幸をお祈り申し上げます。

(神津歴史探訪より 橋本)



神津小学校地区自治協議会
会長

池 永 博 文

新会長に就任しました

この度、5月25日(日)に神津小学校地区自治協議会定期総会にて新会長に就任致しました池永博文と申します。私の地域活動13年の経験を、地域の皆様にお知らせ致します。

神津地区社会福祉協議会の事務局を4年間経験し、後半の2年間は事務局長も経験しました。また、6年間、森本自治会を経験し、後半4年間は自治会長を務め、同じく後半3年間は神津小学校地区自治協議会の副会長と、伊丹市自治連合会の神津ブロック長も経験致しました。その後、森本長寿会(老人会)会長を3年間経験し、まだ継続中です。そして神津小学校地区自治協議会会長に就任し、14年目がスタートしました。

地域の活動歴13年の経験を生かして会長の役割を果たす所存です。さらに、令和2年度から10年間の地域ビジョン達成とキャッチフレーズの「かなえよう」みんなが笑顔で「つながるまち」を合言葉に活動を進めてまいります。つきましては、地域の皆様の方のご支援、ご協力をいただきたく、宜しくお願い申し上げます。して会長就任のご挨拶と致します。

総会報告

令和七年度

総会は、全議案承認されました

議案第一号 令和六年度事業報告

議案第二号 令和六年度収支決算について

(一) 令和六年度収支決算報告

(二) 令和六年度会計監査報告

議案第三号 役員改選について

(一) 会長、副会長、各部長、次長

(二) 会計監査 新会長挨拶

(三) 事務局長、事務局次長、事務局員の委嘱及び紹介

(四) 会計の委嘱及び紹介

議案第四号 令和七年度事業計画案

議案第五号 令和七年度会計予算案

